

Ⅲ. 調査票

協働のまちづくりに関する区民意識調査

～ 調査ご協力をお願い ～

区民の皆さまには、日ごろから区政の運営にご理解とご協力をいただきありがとうございます。豊島区では、一人ひとりの区民をはじめ、町会や自治会、NPO、学校など、地域の多様な主体の参加と協働の仕組みづくりに取り組んでいます。

この調査は、日常生活のなかで感じになっている地域の生活環境、区の政策等について、広くご意見・ご要望をおうかがいし、これからの計画づくりや行政サービスのあり方の検討、区民との協働の仕組みづくり等の基礎として、活かしていくために実施するものです。

これからの豊島区をつくるのは、ほかでもない、区民一人ひとりのまちづくりへの参加、そして協働であると思います。

お忙しいこととは存じますが、調査の趣旨をご理解いただき、ご協力くださいますようよろしくお願いいたします。



平成22年6月

豊島区長 高野之夫

《ご記入にあたって》

1. この調査は、区内在住の18歳以上の方から無作為に選ばせていただいた5,000人を対象として実施するものです。なお、2、3年前と比べた最近の地域の生活環境についての設問があることから、居住年数2年以上の方を対象としています。
2. アンケートのご回答は、原則としてあて名のご本人が行ってください。
(ご本人の回答が困難な場合には、ご家族の方に相談いただいても結構です。)
3. 回答の内容は、全て統計的に処理し、回答者が特定されることはありません。また、郵送に使用した皆様の個人情報、他の目的に流用することはありません。お考えになっていることや、感じになっていることをお答えください。

※ご記入いただいた調査票は、お手数ですが同封の返信用封筒に入れ、

6月30日(水) までにポストにご投函ください。

封筒には、バーコードがついていますが、これは返送先の郵便番号を示すもので、個人を特定するものではありません。

記入上の不明な点、調査についてのお問い合わせは下記までお願いします。

【連絡先】 豊島区 政策経営部 企画課 企画調整グループ

【電話】 03-3981-4201 (直通)

【FAX】 03-3981-1021

I. 豊島区の印象について

1. 住み心地

問1-1 あなたにとって現在お住まいの地域の住み心地はどうか。(1つに○)

- | | |
|-----------------|------------------|
| 1. 住み良い | 3. どちらかといえば住みにくい |
| 2. どちらかといえば住み良い | 4. 住みにくい |
| | 5. わからない |

問1-2 以前と比べて住み心地に変化はありますか。(1つに○)

- | | |
|-----------------|----------|
| 1. 以前より住み良くなった | 3. 変わらない |
| 2. 以前より住みにくくなった | 4. わからない |

▶「問1-2で「1. 以前より住み良くなった」または「2. 以前より住みにくくなった」とお答えの方におたずねします」

問1-3 住み良くなった、または、住みにくくなったと考える理由は何ですか。代表的なことについて1つお答えください。(自由回答)

2. 定住意向

問2 あなたはこれからも現在お住まいの地域に住み続けたいと思いますか。(1つに○)

- | |
|--------------------------|
| 1. いつまでも住み続けたいと思っている |
| 2. 当分住み続けたいと思っている |
| 3. 住み続けたいが転居せざるをえない事情がある |
| 4. 他の地域・区市町村に転居したいと思っている |
| 5. わからない |

3. 地域への愛着

問3 あなたは現在お住まいの地域に愛着を感じますか。(1つに○)

- | | |
|---------------|-----------------|
| 1. 愛着を感じている | 3. あまり愛着を感じていない |
| 2. やや愛着を感じている | 4. 愛着を感じていない |
| | 5. どちらともいえない |

II. 地域の生活環境について

1. 地域の生活環境の評価と今後の優先度

問4 以下の設問は、地域の生活環境を10のグループに分けた上で、そのグループごとに評価の対象となる（目指すべき）生活環境の姿を表したものです。

あなたの生活実感やイメージにもとづき、最も近いと思われるものを選んでください。

- ◎ 「最近の評価」の欄は、2、3年前と比べた評価で、あてはまるところに1つずつ○をつけてください。
- ◎ 「今後の優先度」の欄は、各グループから今後優先的に良くしていくべきと考える項目の番号をご記入ください。
- ◎ もし、回答がわからない場合は、空欄のままにしてください。



グループ	番号	評価の対象となる（目指すべき）生活環境の姿	2、3年前と比べた最近の評価			今後の優先度
			とど そち うら 思か うと いう	いど えち なら いと も	とど そち うら 思か わと ない う	
① 福祉	1	地域の中で、高齢者等を見守り、支え合うような人と人とのつながりがある	1	2	3	各グループの中で、今後優先的に良くしていくべきと思う項目の番号を選んでください。 ※1～8の中から3つ選んで、番号を書いてください。 <input type="text"/> <input type="text"/> <input type="text"/>
	2	高齢者等一人ひとりの状態に合わせた、きめ細やかな介護や生活支援サービスが受けられる	1	2	3	
	3	民間事業者等による介護や福祉のサービスの質が高く、安心して利用できる	1	2	3	
	4	生活保護など、生活の保障がなされ、安定した生活をおくることができる	1	2	3	
	5	必要な支援を受けながら、高齢者や障害者が自立した生活を営むことができる	1	2	3	
	6	高齢者や障害者が、社会参加し、交流しながら、いきいきと自己実現している	1	2	3	
	7	要介護状態になることを未然に防ぐための、介護予防に関するサービスや情報がある	1	2	3	
	8	グループホームや特別養護老人ホームなどが地域の中に整備されている	1	2	3	
② 健康	9	子どもから高齢者まで、健康づくりに取り組むための、多様な機会や場、情報がある	1	2	3	※9～12の中から2つ選んで、番号を書いてください。 <input type="text"/> <input type="text"/>
	10	健康診断や保健指導、相談など、疾病を予防するための保健サービスが充実している	1	2	3	
	11	感染症や食中毒等に不安を感じる事が少ない	1	2	3	
	12	地域の医療機関やサービスが充実している	1	2	3	

グループ	番号	評価の対象となる（目指すべき）生活環境の姿	2、3年前と比べた最近の評価			今後の優先度
			とど そち うら か う と い う	い ど え ち ら な い と も	とど そち うら か わ と な い う	
③ 子育て	13	家庭・学校・地域の中で、子どもの視点に立った子育てが行われている	1	2	3	※13～18の中から2つ選んで、番号を書いてください。 <input type="text"/> <input type="text"/>
	14	いじめや虐待から子どもを守る体制が整備されている	1	2	3	
	15	子どもが、友だちと交流しながらのびのびと遊ぶことができる	1	2	3	
	16	子育ての悩みを一人で抱えることなく、気軽に相談したり、親同士が交流する場や機会がある	1	2	3	
	17	一時保育や延長保育、医療費助成など、多様な子育てサービスが利用できる	1	2	3	
	18	地域ぐるみで子どもを見守り、子育てを支援するような意識が広がり、活動が行われている	1	2	3	
④ 教育	19	地域・家庭と幼稚園・保育園等が協力しあい、充実した幼児教育が行われている	1	2	3	※19～25の中から2つ選んで、番号を書いてください。 <input type="text"/> <input type="text"/>
	20	子どもの基礎的な学力や豊かな人間性が身についている	1	2	3	
	21	学校づくりに保護者や地域住民が関心を持ち、積極的に連携を深めている	1	2	3	
	22	小・中学校の施設が適切に維持され、教育設備が整っている	1	2	3	
	23	学校の周辺及び通学路が安全である	1	2	3	
	24	家庭が主体となり、子どもに社会道徳やモラルを身に付けさせている	1	2	3	
	25	学校施設が地域に開放され、活動の場として活用されている	1	2	3	
⑤ コミュニティ・協働	26	地域の課題に対する関心が高まり、地域活動やまちづくりへの参加が広がっている	1	2	3	※26～32の中から2つ選んで、番号を書いてください。 <input type="text"/> <input type="text"/>
	27	地域活動のための施設やスペースがあり、子どもから高齢者までの多様な世代が交流している	1	2	3	
	28	町会等の活動やボランティア活動など様々な地域活動が活発に行われている	1	2	3	
	29	さまざまな地域活動団体やNPO、企業、大学、行政等の連携によるまちづくりが進んでいる	1	2	3	
	30	地域で外国人との交流がある	1	2	3	
	31	地域社会において平和と人権が尊重されている	1	2	3	
	32	男女が共同で社会に参画できる	1	2	3	

グループ	番号	評価の対象となる（目指すべき）生活環境の姿	2、3年前と比べた最近の評価			今後の優先度
			とど そち うら か う か う か う	い ど え ち ら な い も	とど そち うら か わ と な い う	各グループの中で、今後優先的に良くしていくべきと思う項目の番号を選んでください。
⑥環境	33	運動ができ、災害時にも有効な比較的規模の大きな公園がある	1	2	3	※33～39の中から3つ選んで、番号を書いてください。
	34	街路樹や生垣など、街を歩いていて緑が多い	1	2	3	
	35	騒音、大気汚染などに悩まされることがない	1	2	3	
	36	ヒートアイランド対策や地球温暖化対策など、環境に配慮した行動が広がっている	1	2	3	
	37	道路や公園、街角などにポイ捨てや落書きがなくきれいである	1	2	3	
	38	ごみを減らす努力やリサイクル活動が活発に行われている	1	2	3	
	39	地域実態に応じたごみの効率的な収集・運搬業務が行われている	1	2	3	
⑦都市再生	40	地域特性にあわせたまちづくりが進み、快適な街並みが生まれている	1	2	3	※40～49の中から3つ選んで、番号を書いてください。
	41	まちの中で地域の個性や文化、歴史を感じることができる	1	2	3	
	42	駅及び駅周辺が整備され、利用しやすくにぎわっている	1	2	3	
	43	公営住宅など、住宅に困窮する世帯が、地域に住みつづけるためのセーフティネットが確保されている	1	2	3	
	44	单身向け、ファミリー向けなど、良質な住宅がバランスよく供給されている	1	2	3	
	45	身近な生活道路が快適に通行できる	1	2	3	
	46	駅周辺に駐輪場が整備され、放置自転車が少ない	1	2	3	
	47	鉄道・バス等の交通が便利である	1	2	3	
	48	広場、道路等がバリアフリー化され、池袋駅を中心とした東西の行き来がしやすくなっている	1	2	3	
49	池袋周辺で、新宿、渋谷などない魅力あるまちづくりが進んでいる	1	2	3		



グループ	番号	評価の対象となる（目指すべき）生活環境の姿	2、3年前と比べた最近の評価			今後の優先度
			とど そち うら か う という	い ど え ち ら な い も	とど そち う ら か わ と な い う	各グループの中で、今後優先的に良くしていくべきと思う項目の番号を選んでください。
⑧ 安心・安全	50	家庭、住民一人ひとりの防災意識や災害発生時の行動力が高まっている	1	2	3	※50～55の中から2つ選んで、番号を書いてください。
	51	震災時の避難、救援体制など、街全体として災害への備えができています	1	2	3	
	52	建物の耐火・耐震化や、狭い路地の解消など、災害に強いまちづくりが進んでいる	1	2	3	
	53	集中豪雨による都市型水害が発生する不安が少ない	1	2	3	
	54	治安がよく、安心して暮らせる	1	2	3	
	55	交通事故が少ない	1	2	3	
⑨ 観光・産業	56	商業地や鉄道駅周辺地域がにぎわい、多くの人を訪れている	1	2	3	※56～61の中から2つ選んで、番号を書いてください。
	57	テレビや新聞・雑誌で、豊島区をイメージアップする情報がよく紹介される	1	2	3	
	58	観光情報や物産など、地方の情報に接することができる	1	2	3	
	59	新たに区内で事業を起こそうとする人が増えている	1	2	3	
	60	地域のなかで商店街、地場産業が活発に事業展開している	1	2	3	
	61	消費生活でトラブルに悩まされず、相談窓口も充実している	1	2	3	
⑩ 文化	62	文化・芸術活動が生活やまちに活力を与えている	1	2	3	※62～69の中から2つ選んで、番号を書いてください。
	63	文化イベントなどによる新たな文化・芸術の育成、発信が活発である	1	2	3	
	64	歴史的財産である文化財や文化資源が大切に保存・活用されている	1	2	3	
	65	劇場や美術館、博物館など、文化・芸術を鑑賞する施設や機会が多い	1	2	3	
	66	文化・芸術活動に参加できる場があり、リーダーとなる人材も育っている	1	2	3	
	67	図書館や公開講座など、多様な生涯学習を選択する機会がある	1	2	3	
	68	地域のなかで自主的に生涯学習活動を行う人材が育っている	1	2	3	
	69	地域でスポーツに親しむ環境や機会がある	1	2	3	

Ⅲ. 区の政策について

1. 区に関する情報について

問5 あなたは、区に関する情報をどのような方法で入手していますか。

(あてはまるものすべてに○)

- | | |
|-------------------|-----------------|
| 1. 広報紙（広報としま） | (→問5-1をお答えください) |
| 2. 区のホームページ | (→問5-2をお答えください) |
| 3. テレビ広報 | |
| 4. 区の掲示板 | |
| 5. 町会などの回覧板 | |
| 6. 知人・家族から | |
| 7. 区の窓口や電話での問い合わせ | |
| 8. 入手できない | |
| 9. 入手したことがない | |
| 10. その他（具体的に： | ） |

《問5で「1. 広報紙（広報としま）」とお答えの方におたずねします》

問5-1 あなたは、広報紙をどのような方法で入手していますか。（あてはまるものすべてに○）

- | | |
|-------------|-----------------|
| 1. 新聞折り込み | 5. 公衆浴場 |
| 2. 区の施設 | 6. 区ホームページで見ている |
| 3. 駅の広報スタンド | 7. その他（具体的に： |
| 4. ファミリーマート | ） |

《問5で「2. 区のホームページ」とお答えの方におたずねします》

問5-2 あなたは、豊島区公式ホームページを見るために何を使用しますか。

(あてはまるものすべてに○)

- | | | |
|------------|--------------|---------|
| 1. 自宅のパソコン | 2. 自宅以外のパソコン | 3. 携帯電話 |
|------------|--------------|---------|

《すべての方におたずねします》

問6 としまテレビでは、区が作成した行政情報番組を放送しています。あなたは、この番組をご自宅や職場でご覧になったことがありますか。（1つに○）

- | |
|------------------------------|
| 1. よく見ている |
| 2. たまに見ている |
| 3. 見たことがある |
| 4. ケーブルテレビに接続しているが見たことがない |
| 5. ケーブルテレビに接続していないため、見たことがない |

2. セーフコミュニティについて

問7 平成22年2月、豊島区はWHO（世界保健機関）が提唱する「セーフコミュニティ」の認証取得に向けて取り組みをスタートしました。セーフコミュニティとは、「けがや事故等は、偶然の結果ではなく、予防することができる」という考え方のもと、地域のコミュニティや絆を広げながら、生活の安全と質を高めていくまちづくり活動のことです。

あなたは、この取り組みを知っていますか。（1つに〇）

1. 考え方や活動内容を知っている	3. 知らなかった
2. 言葉は聞いたことがある	

問8 あなたがお住まいの地域における、事故やけが、犯罪、災害などに対する安心感について、以前と比べて、全体としてどのように変化していると感じていますか。（1つに〇）

1. 安心感が高まった	3. あまり変わらない	4. やや不安感が大きくなった
2. やや安心感が高まった	5. 不安感が大きくなった	

問9 あなた（あなたの家族）が生活するなかで、下記の項目について、以前と比べて、どのように変化していると感じていますか。（各項目のあてはまる番号に1つずつ〇）

項 目	改善方向	変わらない	悪化方向
1. 自転車や自動車による交通事故の不安	1	2	3
2. 暴行や傷害、強盗などの粗暴、凶悪犯罪の不安	1	2	3
3. テロに巻き込まれる不安	1	2	3
4. 家庭内暴力や児童虐待などが増えていることへの不安	1	2	3
5. 空き巣や自転車の盗難、ひったくりなど、窃盗犯罪の不安	1	2	3
6. 痴漢やわいせつ、のぞきなどの性犯罪の不安	1	2	3
7. 振り込め詐欺や悪質商法などの被害の不安	1	2	3
8. インターネットや携帯電話などによる詐欺などの被害の不安	1	2	3
9. 子どもや女性への不審者の声かけやつきまといの不安	1	2	3
10. 学校や登下校時に子どもが事故や事件にあう不安	1	2	3
11. 客引きやキャッチセールス等による繁華街の環境の不安	1	2	3
12. 落書きやポイ捨てなどによるまちの環境の不安	1	2	3
13. マナーやルールを守らない行動が目につくことへの不安	1	2	3
14. 犯罪の低年齢化に対する不安	1	2	3
15. 独り暮らし高齢者が事件や事故にあってしまうことへの不安	1	2	3
16. 自殺やうつ病が増える傾向にあることへの不安	1	2	3
17. 地震災害や水害、火災などの危険に対する不安	1	2	3
18. 緊急時に必要な近隣との交流や付き合いが薄れてきていること	1	2	3
19. 上記以外で、最近、不安を感じるがあればご記入ください。 ()			

問10 過去1年間のなかで最も印象に残っている、あなた自身のけがや事故の経験についてお聞きします。(1つに○)

- | |
|--|
| 1. 手当が必要なほどのけがはしたことがない |
| 2. けがはしなかったが、一歩間違えば大きなけがや事故になったようなヒヤリ体験がある |
| 3. けがをして、医療機関に通院したことがある |
| 4. けがをして、医療機関に入院したことがある |

▶◀問10で「2」～「4」とお答えの方におたずねします▶

問10—1 問10でお答えいただいたけがや事故、ヒヤリ体験の内容と場所はどのようなでしたか。
(内容と場所・状況それぞれに、あてはまるものすべてに○)

内 容	1. 交通事故	7. はちに刺された、動物にかまれた
	2. 転倒や転落など	8. きり傷、さし傷、すり傷
	3. のどに物をつまらせた	9. 打ぼく、うちみ
	4. おぼれて水を飲んだ	10. 脱臼、ねんざ
	5. 薬品等による中毒、損傷	11. 骨折
	6. 炎や熱湯などによるやけど	12. その他(具体的に:)

場 所 ・ 状 況	1. 家庭内	6. まちなかの道路等を歩行中
	2. 職場	7. 自動車・バイクに乗車中
	3. 駅、電車・バス等の交通機関内	8. 自転車に乗車中
	4. 公園、広場	9. スポーツをしているとき
	5. 店舗などの施設内	10. その他(具体的に:)

問11 あなたは、ご近所の方とどの程度お付き合いがありますか。また、今後はどの程度お付き合いをしていきたいですか。(現在、今後、それぞれ該当する欄の番号1つに○)

お付き合いの程度	現在	今後
(1) 互いに相談しあうような、生活面での協力関係ができる程度	1	1
(2) 互いに相談しあうことはないが、世間話や立ち話をする程度	2	2
(3) 会話はほとんどしないが、会ったらあいさつはする程度	3	3
(4) ほとんど付き合いがなく、あいさつもめったにしない程度	4	4

問12 これから先、地域の安全・安心を守るために何が重要になると思いますか。(1つに○)

- | |
|---------------------------------|
| 1. 一人ひとりが自分の身を守る予防対策 |
| 2. 地域のなかで連携・協働を広げたコミュニティによる予防活動 |
| 3. 警察や消防、行政等の公的機関による活動 |
| 4. その他(具体的に:) |

3. 区政全般への要望

問13 区政全体について考えた場合、ここに掲げた項目のうち、あなたが「現在、区が力を入れていると思う施策」、「特に力を入れてほしいと思う施策」はどのようなことですか。

(〇はそれぞれ5つまで)

施 策	現在、区が力を入れていると思う施策 (5つまで)	特に力を入れてほしいと思う施策 (5つまで)
(1) 健康づくり	1	1
(2) 高齢者福祉の充実	2	2
(3) 障害者(児)福祉の充実	3	3
(4) 保健・医療の充実	4	4
(5) 子どもの健全育成	5	5
(6) 子育て支援の充実	6	6
(7) 学校教育の充実	7	7
(8) 地域の活動やコミュニティの形成	8	8
(9) 男女共同参画など人権を尊重した社会づくり	9	9
(10) みどりや公園づくり	10	10
(11) 環境保全・資源リサイクル	11	11
(12) 再開発・街づくり・街並みの整備	12	12
(13) 道路交通網の整備	13	13
(14) 住宅対策	14	14
(15) 交通安全対策	15	15
(16) 放置自転車対策	16	16
(17) 池袋副都心の活性化	17	17
(18) 中小企業、地域経済の振興	18	18
(19) 消費生活対策	19	19
(20) 防災対策	20	20
(21) 治安対策	21	21
(22) モラル低下等による迷惑行為の防止対策	22	22
(23) 文化・芸術の振興	23	23
(24) 観光・都市交流	24	24
(25) 生涯学習・スポーツ等の充実	25	25
(26) 区民サービスのIT化・情報化の推進	26	26
(27) 行財政改革	27	27

IV. あなたご自身のことについて (※ 統計的に分析するために使用します。)

①あなたの性別をお答えください。(1つに○)

1. 男性	2. 女性
-------	-------

②あなたの年齢について、お答えください。(1つに○)

1. 18～19歳	4. 40～49歳	7. 70歳以上
2. 20～29歳	5. 50～59歳	
3. 30～39歳	6. 60～69歳	

③あなたの職業について、お答えください。(1つに○)

1. 自営業主	5. 専業の主婦(主夫)
2. 家族従業	6. 学生
3. 勤め(全日)	7. 無職
4. 勤め(パートタイム)	8. その他(具体的に:)

④あなたは生まれてからずっと豊島区にお住まいですか。(1つに○)

1. ずっと住んでいる (一時的に豊島区を離れた人も含む)	2. 他の地域からきた
----------------------------------	-------------

⑤あなたの豊島区にお住まいの年数について、お答えください。(1つに○)

1. 2年以上～5年未満	3. 10年以上～20年未満
2. 5年以上～10年未満	4. 20年以上

⑥あなたのお住まいの町名について、お答えください。(番号に○印を付け、()内に数字もお書きください。)

記入例 (○) 駒込 (2) 丁目

1. 駒込 () 丁目	8. 南池袋 () 丁目	15. 南長崎 () 丁目
2. 巢鴨 () 丁目	9. 西池袋 () 丁目	16. 長崎 () 丁目
3. 西巢鴨 () 丁目	10. 池袋 () 丁目	17. 千早 () 丁目
4. 北大塚 () 丁目	11. 池袋本町 () 丁目	18. 要町 () 丁目
5. 南大塚 () 丁目	12. 雑司が谷 () 丁目	19. 高松 () 丁目
6. 上池袋 () 丁目	13. 高田 () 丁目	20. 千川 () 丁目
7. 東池袋 () 丁目	14. 目白 () 丁目	

⑦あなたの世帯の構成について、お答えください。（1つに〇）

1. 単身者	3. 親と子	5. その他
2. 夫婦のみ	4. 三世代	(具体的に：)

▶《⑦で「3. 親と子」または「4. 三世代」とお答えの方におたずねします》

⑧あなたの家族に中学生以下のお子さんは何人いらっしゃいますか。（1つに〇）

1. いない	2. 1人	3. 2人	4. 3人以上
--------	-------	-------	---------

⑨あなたのお住まいの形態について、お答えください。（1つに〇）

1. 一戸建て	3. 集合住宅（賃貸）
2. 集合住宅（分譲）	4. その他（具体的に：)

豊島区では、より一層の区民サービスの向上、個性豊かなまちづくりをめざし、さまざまな取り組みを行っています。あなたが日々暮らしていく中で最近「豊島区が変わったな」と感じる事（豊島区が良くなったこと、悪くなったこと、取り組みをもっと進めてほしいことなど）についてご自由にお書きください。

調査にご協力いただき大変ありがとうございました。

この調査票は、同封の返信用封筒に入れて6月30日（水）までにお近くのポストに投函してください。（切手を貼る必要はありません。）



協働のまちづくりに関する区民意識調査

平成 22（2010）年 9 月 発行
（平成 22 年 6 月 実施）

豊島区政策経営部企画課

東京都豊島区東池袋 1 - 1 8 - 1
電話 0 3（3 9 8 1）1 1 1 1